

ヒグマによる人身被害

北海道は、山菜採りやキノコ採りなどの目的で野山に入る機会が多くなる春と秋に、「ヒグマ注意特別期間」を設定し、普及啓発事業を実施しています。

◎月別被害者数

(平成元年度～平成31年2月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡者数	4	3	2	0	0	3	2	0	0	1	0	0	15
負傷者数	6	3	1	0	1	2	9	1	0	0	2	1	26
合計	10	6	3	0	1	5	11	1	0	1	2	1	41

春

人間：山菜採りのシーズン
ヒグマ：冬眠明けで活発に餌探し

秋

人間：キノコ採りのシーズン
ヒグマ：冬眠を控えて活発に餌探し

…春と秋は、ヒグマと遭遇する確率が高まる

◎人身被害発生時の被害者の活動

(平成元年度～平成31年2月末)

被害者の活動	被害者数	内訳	
		死亡	負傷
山菜・キノコ採り	28	11	17
山林作業	6	1	5
農作業	2	1	1
釣り	2	2	0
その他	3	0	3
合計	41	15	26

山菜採り及びキノコ採りが約3人に2人の割合で最も多くなっています。

(狩猟者の被害は特殊な事例のため、ここでは除外しています。)

◎ヒグマとの突然の遭遇を避けるために

- ◆ 鈴を鳴らすなど音を出して、ヒグマに人間の存在を知らせる
- ◆ 目立つ服装をして単独行動を避ける
- ◆ 足跡などの痕跡があったら、すぐに引き返す
- ◆ 朝夕の活動を避ける(朝夕はヒグマの行動も活発になります)

大切なのは出会わないこと！

最初から人を襲おうと思っているヒグマはほとんどいません。バツリ出会った時は、人間だけでなくヒグマも驚いています。出会ってしまったら落ち着いて、クマを見定めながら静かに立ち去りましょう。